世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
Musashino University
武蔵野大学 学術機関リポジトリ
Musashino University Academic Institutional Repository

社交不安症におけるポジティブな情報に対する認知バイアス研究の現状

メタデータ	言語: jpn
	出版者:
	公開日: 2018-03-12
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 大川, 翔, 城月, 健太郎
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/725

■ 総 説

社交不安症におけるポジティブな情報に対する認知バイアス研究の現状

大川　翔[1)]、城月健太郎[2)]
1）武蔵野大学大学院人間社会研究科
2）武蔵野大学人間科学部

背景

社交不安症 / 社交不安障害（Social Anxiety Disorder: 以下 SAD とする）は，「他者によって注視されるかもしれない社会状況に関する著明または強烈な恐怖または不安」（American Psychiatric Association, 2013）を特徴とする疾患である。SAD 患者には認知バイアスや回避行動など社交不安を維持する要因が見られる。社交不安の維持要因の中でも，他者からの否定的評価に対する恐れ（Fear of Negative Evaluation: 以下 FNE とする）が社交不安の主要な認知的特徴であることが示されている（Rapee & Heimberg, 1997）。そのため，これまでの社交不安研究では，社交不安の否定的な面が重要視されてきた。

しかし近年，SAD 患者のポジティブな出来事や感情，経験の不足が注目されている（Farmer, Kashdan, & Weeks, 2014）。Kashdan（2007）は社交不安とポジティブ感情，好奇心との関連に関する 19 個の研究を集約し，メタ分析を行った。その結果，社交不安とポジティブ感情との間に中程度の負の関連があることが報告されている（r= − .36; 95%CL: − .31 〜 − .40）。ポジティブな経験などの不足の原因となる認知バイアスとして，他者からの肯定的評価に対する恐れ（Fear of Positive Evaluation: 以下 FPE とする）が指摘されている（Weeks & Howell, 2014）。そのため，FPE と社交不安の関連についての研究が増えてきている（例えば，Fergus, Valentiner, McGrath, Stephenson, Gier, & Jencius, 2009; Weeks, Heimberg, & Rodebaugh, 2008）。

他者からの肯定的評価に対する恐れ（FPE）

FPE とは，他者からの肯定的評価を恐れ，そのような評価を苦痛に感じる認知バイアスである（Weeks et al., 2008）。先行研究で，FPE とポジティブなフィードバックに対する不快感が関連することが示されている（Weeks, Heimberg, Rodebaugh, & Norton, 2008）。また，FPE はポジティブなフィードバックを正確だと認識するかに影響することが示され，その媒介要因として，ポジティブなフィードバックに対する不快感があることが示唆されている。このことから，FPE の存在がポジティブなフィードバックに対する不快感，およびそのフィードバックが正確ではないと認識することにつながると指摘されている（Weeks et al., 2008）。

FPE を測定する尺度は Weeks et al.（2008）によって作成されており，日本語版は前田・関口・堀

内・Weeks・坂野（2014）によって作成されている。米国で行われた研究では，他者と交流する状況に対する恐怖を測定する Social Interaction Anxiety Scale と FPE の相関係数は .35 から .64 の間の値を示している（Lipton, Weeks & Reyes, 2016; Weeks et al., 2008）。本邦で行われた研究の相関係数も .57 と中程度の値を示している（前田他，2014）。FPE は，パフォーマンス状況に対する恐怖を測定する Social Phobia Scale とも中程度以上の相関が報告されており（Lipton et al., 2016; Weeks et al., 2008），いずれの研究でも社交不安と FPE の関係性が示されている。また，FPE は SAD の維持要因である安全行動や注意バイアスと関連することも先行研究で明らかになっている（Lipton et al., 2016; Sluis & Boschen, 2014）。

FPE は全般性不安障害，強迫性障害，パニック障害，うつ病よりも SAD と強く関連することが明らかになっている（Weeks et al., 2008）。また，非臨床群や SAD 以外の疾患を持つ患者よりも SAD 患者のほうが高い FPE を有することが報告されている（Fergus et al., 2009; Weeks et al., 2012）。階層的重回帰分析と共分散構造分析を用い，2 つの評価に対する恐れと社交不安，抑うつの関連性を検証した研究では，FNE は社交不安とより関連するが，抑うつとも関連する認知バイアスであることが示された（Wang, Hsu, Chiu, & Liang, 2012; Weeks, 2015）。一方，FPE は社交不安のみと関連することが示され，社交不安特有の認知バイアスであることが指摘されている（Wang et al., 2012; Weeks, 2015）。

従来の認知行動モデル（Rapee & Heimberg, 1997）では FNE の重要性のみが主張されてきたが，FPE も社交不安を維持・増悪させる要因であることが明らかになり，発展した認知行動モデルに組み入れられた（Heimberg, Brozovich, & Rapee, 2010）。このモデルを Fig.1 に示す。認知行動モデルでは，他者から見られている自己像が重要な要素となる。この自己像は自身が選択的に注意を向けた外的・内的手がかりなどを元に形成されるため，実際とは異なり否定的な自己像になることが多い。また，この否定的な自己像の形成要因となる認知バイアスとして，ネガティブな情報を過大評価し，ポジティブな情報を過小評価する認知バイアスの存在が報告されている（Weeks et al., 2008）。このことから，FNE だけではなく，FPE も自己像の形成に関与し，社交不安の維持・増悪に影響を与える要因であることが示唆される。

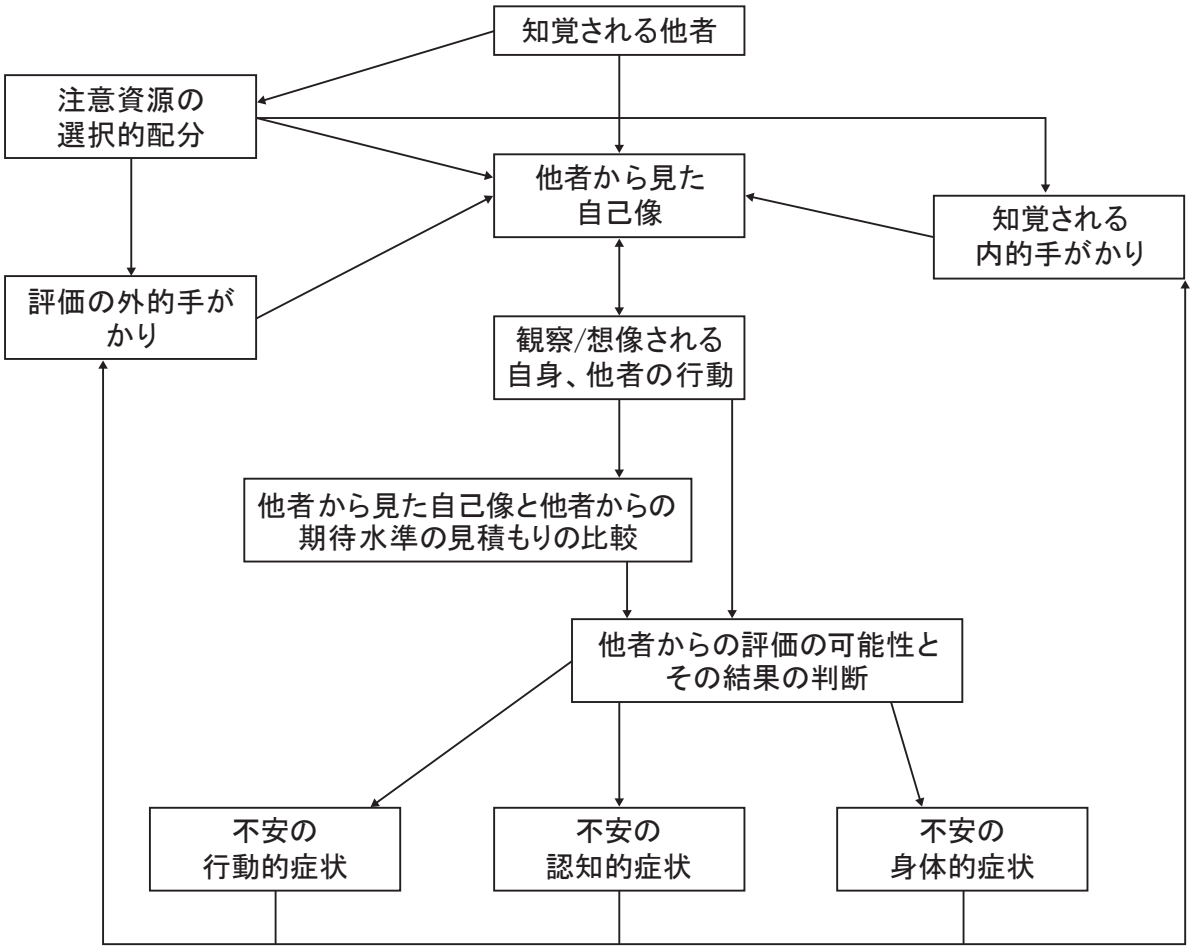

Fig. 1 社交不安の認知行動モデル（Heimberg, Brozovich, & Rapee, 2010）

理論的モデル

FPE 研究の基となった理論的モデルとして，社交不安の psycho-evolutionary model がある（Gilbert, 2001）。このモデルによると，高社交不安者は，自分は他者より地位が低いと考え，他者に悪い印象を与えることを恐れる。そのため，失敗や他者からの否定的な評価を恐れる。また，自分の地位が上がることによる他者との衝突を恐れ，その上がった地位を維持することができないのではないかということに対して恐怖を抱く。これは，「上手くいくことに対する恐怖（fear of doing well）」と呼ばれ（Gilbert, 2001），自身の評価を守るための自己防衛として働く（Wallace & Alden, 1997）。このことから，FNE には社会的に好ましくないと思われ，社会的地位が下がることで，自身が所属するグループから外されないようにする機能があることが示唆されている。それに対して，FPE にはポジティブな印象を避け，社会的地位が上がらないようにすることで，自身が所属するグループの人から脅威だと思われないようにする機能がある。つまり，FNE と FPE がそれぞれ機能することで，高社交不安者は自身の社会的地位を維持しようとするのである。この FNE と FPE がそれぞれ異なる機能を持ち，社交不安に影響を与えることは，「両価性の評価に対する恐れモデル（the bivalent fear of evaluation model）」と呼ばれ（Weeks & Howell, 2012），どちらか一方の評価に対する恐れが強い人よりも重篤な社交不安症状を有することが明らかになっている（Lipton et al., 2016）。

FPE と関連する概念

ポジティブな情報に対する認知バイアスには，FPE との関係性が指摘されている概念がいくつかある。それぞれの関係性について，先行研究を参考に筆者が作成したモデルを Fig.2 に示す。このモデルでは高社交不安者が他者から肯定的評価を受けた時に生じる，ポジティブな情報に対する認知バイアスの概念間の関係性を示している。

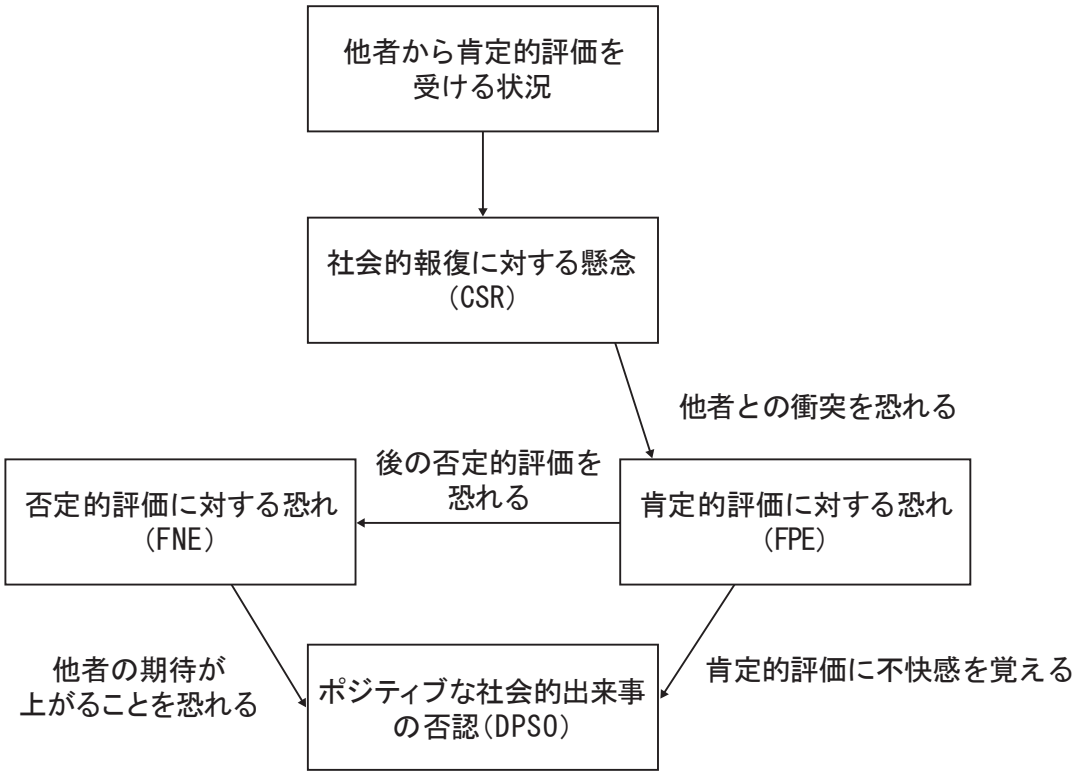

Fig. 2 ポジティブな情報に対する認知バイアスの概念間の関係性

(1) 社会的報復に対する懸念：Concerns of social reprisal (CSR)

FPE の基盤となる概念として，社会的報復に対する懸念（concerns of social reprisal: 以下 CSR とする）がある。CSR とは，肯定的な印象を周りに与えることで，自分より社会的地位の高い他者と衝突することに対して恐怖を抱くことである（Weeks, Menatti, & Howell, 2015）。Weeks et al.（2015）は，CSR を測定する尺度を作成し，FPE および社交不安との関連を検討している。その結果，CSR は FPE と社交不安のどちらとも関連することが示された。また，CSR は社交不安よりも FPE との相関が強かったため，CSR は FPE の基盤である可能性が示唆された。臨床群と非臨床群の CSR 得点の比較では，臨床群の CSR 得点のほうが有意に高いことが示されている。以上の結果は，上記の psycho-evolutionary model を支持するものであり，CSR があることで他者と衝突することを恐れるため，FPE が高まることが指摘されている（Weeks et al., 2015）。

（2）　ポジティブな社会的出来事の否認：Disqualification of positive social outcomes (DPSO)

FPE と関連する概念として，ポジティブな社会的出来事の否認（disqualification of positive social outcomes: 以下 DPSO とする）がある。DPSO とは，社会的状況での肯定的出

来事や成果を自身の能力や努力には帰属せず，否認する傾向である（Heimberg & Becker, 2002）。DPSO はポジティブな情報による不快感を軽減するために，自身の中で行われる安全行動として機能する。Weeks（2010）が作成した DPSO 尺度は，他者志向的帰属因子と自己志向的帰属因子の 2 因子により構成されている。他者志向的帰属因子とは，肯定的出来事を他者に帰属するという因子で，自己志向的帰属因子とは，肯定的出来事を自身の能力や努力には帰属しないという因子である。どちらの因子も社交不安，FPE と関連することが先行研究で示されている（Weeks, 2010; Weeks & Howell, 2012）。また，パニック障害や心配よりも社交不安および FPE, FNE と強く関連することが明らかになっている（Weeks, 2010）。抑うつとの関連を検証した階層的重回帰分析では，他者志向的帰属因子は社交不安のみとの関連が示されたが，自己志向的帰属因子は抑うつのみとの関連が示されている（Weeks, 2015）。

DPSO の自己志向的帰属因子と他者志向的帰属因子は異なる役割を有することが報告されている。自己志向的帰属因子は FPE と否定的な自動思考の媒介要因であることが明らかになっている（Weeks & Howell, 2012）。このことから，肯定的評価に対する恐れが強くなることで，肯定的出来事を自身に帰属しなくなり，その結果，否定的な自動思考を経験しやすくなることが示唆された。他者志向的帰属因子は，FPE から直接的な影響を受けるだけではなく，CSR を介しても影響を受けていることが指摘されている。そのことから，肯定的評価に対する恐れが強くなることで，他者から社会的報復を受けることに対する懸念が増加するため，肯定的出来事を他者に帰属する傾向が増すと考察されている。臨床群と非臨床群の DPSO 得点の比較では，他者志向的帰属因子と自己志向的帰属因子のどちらも臨床群のほうが有意に高いことが示されている（Weeks, 2010）。DPSO は SAD の治療を受ける患者からよく報告される傾向であり，心理療法の障害となることが報告されている（Heimberg & Becker, 2002）。

(3) 否定的評価に対する恐れ：Fear of negative evaluation (FNE)

FPE と FNE の関係性について，これまで様々な研究が行われてきた。これまでの米国の研究で，FPE と FNE の相関係数は .36 から .74 の間の値を示しており，中程度から強程度の関連が報告されている（Weeks et al., 2008; Weeks, Heimberg, Rodebaugh, Goldin, & Gross, 2012）。Weeks et al.（2008）は，大学生を対象に研究を行い，FPE と FNE を 1 つの潜在因子としたモデルとそれぞれを別の 2 因子にしたモデルの適合度を比較した。その結果，2 因子モデルのほうが適合度が高く，FPE と FNE は関連するが異なる概念であることが示唆された。これと同様の結果が臨床群を対象にした研究でも得られている（Fergus et al., 2009）。また，回避気質は FPE より FNE と関連が強く，接近気質は FPE と関連が強いという研究結果や FNE より FPE のほうが CSR と関連するという研究結果がある（Rodebaugh, Levinson, Langer, Weeks, Heimberg, Brown, Menatti, Schneier, Blanco, & Liebowitz, 2017; Weeks et al., 2015）。以上から，FPE と FNE は関連するが，それぞれ別の役割を有する異なる概念であることが指摘されている。

上記の研究で，FPE と FNE は異なる概念であることが示されているが，FPE は肯定的

評価を受けることで後の否定的評価を予測するだけではないのかという議論がある。このことについて検証した縦断的研究がある（Rodebaugh, Weeks, Gordon, Langer, & Heimberg, 2012）。この研究では，FPE と FNE は関連するが全く別の認知バイアスなのか，それとも FPE は将来的に否定的評価をされることに対する恐れを反映するものなのかが検証された。それぞれを競合するモデルとして，縦断的に検証した結果，FPE と FNE は関連するが全く別の認知バイアスであるというモデルが支持され，FPE と FNE が異なる概念であることが示された。このことから，FPE が後の否定的評価に対する恐れを表すことがあることはあるが，FPE と FNE はそれぞれが別の役割を有する異なる認知バイアスであるという説が支持された。

今後の展望

SAD におけるポジティブな情報に対する認知バイアス研究は萌芽的段階の分野であるため，明らかになっていないことが多い。そのため，今後の展望として 3 つの点を挙げる。1 つ目の点として，FPE の社交不安への影響メカニズムが検討されていない点が挙げられる。これまでの研究では，主に FPE とその他の維持要因との関連を個別に検証しており，社交不安への影響メカニズムをモデルとして示し，検証した研究は筆者の知るところまだない。影響メカニズムを示したモデル作成は，認知行動療法的介入に関わる基礎理解のために必要であるため，今後モデルの作成および検討が必要であることが考えられる。

2 つ目の点として，FPE などポジティブな情報に対する認知バイアスに焦点を当てた心理的介入開発の必要性が挙げられる。例えば，認知再構成法による FPE や DPSO の修正やポジティブ評価を受ける場面へのエクスポージャー，セルフ・コンパッションに焦点を当てた介入などが考えられる。これまでの SAD に対する認知行動療法では，FNE への介入に焦点を当ててきたが，最近の研究で FPE も SAD の主要な認知バイアスであることが明らかになってきた。また，SAD 患者に対する従来の認知行動療法では，FNE と比べると FPE への効果量が低いことが報告されている（Fergus et al., 2009）。FPE に介入することで，FPE への効果量が増加し，SAD 患者に対する治療効果が向上する可能性がある。そのため，FPE にも焦点を当てた介入プログラム開発の必要が示唆される。

3 つ目の点として，本邦における FPE およびその他のポジティブな情報に対する認知バイアス研究の必要性が挙げられる。日本では FPE が社交不安に対して大きく影響する可能性が示唆されているが（前田他，2014），本邦における FPE 研究はまだあまりない。日本を含めたアジアでは米国と比べると，FNE と FPE の相関が低いという報告がある（大川・高橋・笹川・城月，2016; Wang et al., 2012）。このことについて，Wang et al.（2012）は FPE には評価に対する恐れだけではなく，アジア特有の謙虚さが含まれる可能性を指摘している。このことから，アジアにおける FPE は米国と比べると異なる役割を保持している可能性が示唆される。そのため，CSR や DPSO など FPE 以外のポジティブな情報に対する認知バイアスについても日本語版尺度を作成し，検証していく必要がある。

引用文献

American Psychiatric Association: *Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders. 5th edition.* American Psychiatric Association, Washington D. C.; 2013

Farmer, A. S., Kashdan, T. B., & Weeks, J. W. : Positive deficits in social anxiety: Emotions, events, and cognitions. In S. Hofmann & P. DiBartolo （Ed.）, *Social anxiety 3rd edition clinical, developmental, and social perspectives*, New York: Academic Press; 551-578 2014

Fergus, A. F., Valentiner, D. P., McGrath, P. B. Stephenson, K., Gier, S., & Jencius, S. : The fear of positive evaluation scale: Psychometric properties in a clinical sample. *Journal of Anxiety Disorders* 23; 1177-1183 2009

Gilbert, P. : Evolution and social anxiety the role of attraction, social competition, and social hierarchies. *The Psychiatric Clinics of North America* 24; 723-751 2001

Heimberg, R. G. & Becker, R. E. : *Cognitive-behavioral group therapy for social phobia: Basic mechanisms and clinical strategies*. New York: Guilford Press; 176-282 2002

Heimberg, R. G., Brozovich, F. A., & Rapee, R. M. : A cognitive-behavioral model of social anxiety disorder: Update and extension. In S. G. Hofmann & P. M. DiBartolo （Eds.）, *Social anxiety（second edition）: Clinical, developmental and social perspectives*, New York: Academic Press; 395-422 2010

Kashdan, T. B. : Social anxiety spectrum and diminished positive experiences: Theoretical synthesis and meta-analysis. *Clinical Psychology Review* 27; 348-365 2007

Lipton, M. F., Weeks, J. W., & Reyes, A. D. L. : Individual differences in fears of negative versus positive evaluation: Frequencies and clinical correlates. *Personality and Individual Differences* 98; 193-198 2016

前田香・関口真有・堀内聡・Weeks, J. W.・坂野雄二 : Fear of Positive Evaluation Scale日本語版の信頼性と妥当性の検討. *不安症研究*6（2）; 113-120 2014

大川翔・高橋稔・笹川智子・城月健太郎：自己志向的完全主義と評価に対する恐れの関連. *武蔵野大学心理臨床センター紀要* 16; 1-11 2016

Rapee, R. M. & Heimberg, R. G. : A cognitive-behavioral model of anxiety in social phobia. *Behaviour Research and Therapy* 35; 741-756 1997

Rodebaugh, T. L., Levinson, C. A., Langer, J. K., Weeks, J. W., Heimberg, R. G., Brown, P. J., Menatti, A. R., Schneier, F. R., Blanco, C., & Liebowitz, M. R. : The structure of vulnerabilities for social anxiety disorder. *Psychiatry Research* 250; 297-301 2017

Rodebaugh, T. L., Weeks, J. W., Gordon, E. A., Langer, J. K., & Heimberg, R. G. : The longitudinal relationship between fear of positive evaluation and fear of negative evaluation. *Anxiety, Stress & Coping* 25; 167-182 2012

Sluis, R. A. & Boschen, M. J. : Fear of evaluation in social anxiety: Mediation of attentional bias to human faces. *Journal of Behavior Therapy and Experimental Psychiatry* 45; 475-483 2014

Wallace, S. T. & Alden, L. E. : Social phobia and positive social events: The price of success. *Journal of Abnormal Psychology* 106; 416-424 1997

Wang, W., Hsu, W., Chiu, Y., & Liang, C. : The hierarchical model of social interaction anxiety and depression: The critical roles of fears of evaluation. *Journal of Anxiety Disorders* 26; 215-224 2012

Weeks, J. W. : Replication and extension of a hierarchical model of social anxiety and depression: Fear of positive evaluation as a key unique factor in social anxiety. *Cognitive Behaviour Therapy* 44; 103-116 2015

Weeks, J. W. : The disqualification of positive social outcomes scale: A novel assessment of a long-recognized cognitive tendency in social anxiety disorder. *Journal of Anxiety Disorders* 24; 856-865 2010

Weeks, J. W., Heimberg, R. G., & Rodebaugh, T. L. : The fear of positive evaluation scale: Assessing a proposed cognitive component of social anxiety. *Journal of Anxiety Disorders* 22; 44-55 2008

Weeks, J. W., Heimberg, R. G., Rodebaugh, T. L., Goldin, P. R., & Gross, J. J. : Psychometric evaluation of the fear of positive evaluation scale in patients with social anxiety disorder. *Psychological Assessment* 24; 301-312 2012

Weeks, J. W., Heimberg, R. G., Rodebaugh, T. L., & Norton, P. J. : Exploring the relationship between fear of positive evaluation and social anxiety. *Journal of Anxiety Disorders* 22; 386-400 2008

Weeks, J. W. & Howell, A. N. : Fear of positive evaluation: The neglected fear domain in social anxiety. In J. W. Weeks （Ed.）, *The Wiley-Blackwell handbook of social anxiety disorder,* Chichester: Wiley-Blackwell; 433-453 2014

Weeks, J. W. & Howell, A. N. : The bivalent fear of evaluation model of social anxiety: Further integrating findings of fears of positive and negative evaluation. *Cognitive Behaviour Therapy* 41; 83-95 2012

Weeks, J. W., Menatti, A. R., & Howell, A. N. : Psychometric evaluation of the concerns of social reprisal scale: Further explicating the roots of fear of positive evaluation. *Journal of Anxiety Disorders* 36; 33-43 2015